



やるきほんききさき
木佐木

神奈川県議員

日本共産党

2024.1.31

木佐木ただまさ news

発行：党横浜北東地区委員会

横浜市鶴見区潮田 3-147-6

TEL：045-511-1021

Profile

▶1984年山口県出身

▶鶴見区馬場在住

▶神奈川大学法学部卒

▶よこはま健康友の会会長

▶横浜東民商顧問

能登復興支援強化と教訓の具体化を



緊急消防援助隊

神奈川県大隊の第七次派遣

ボランティアの受け入れが開始されるなど復興支援が加速する中で、神奈川県からの消防援助隊の派遣は第7次となりました。詳細は以下の通りです。

(1) 出動要請場所：石川県輪島市

(2) 第七次派遣隊出動部隊数

指揮隊 4隊 13人

消火小隊 1隊 5人

救助小隊 5隊 25人

救急小隊 3隊 9人

後方支援小隊 16隊 37人

特殊装備小隊 3隊 18人

計 32隊 107人 (第一次から第七次派遣隊延出動部隊数 440隊 1,536人)

(3) 活動内容：現地における救出救助活動等

(4) 出動根拠：消防組織法第44条第5項の規定による緊急消防援助隊の派遣

・消防庁指示 (1月8日 (月曜日))

(5) その他

・1月26日(金曜日)後方支援の交代要員として県職員1名を派遣予定

(後方支援要員の延人数 14名)

・1月27日(土曜日)23時頃、神奈川県消防学校から現地に出発予定

・一般社団法人神奈川県トラック協会の輸送協力を得て、第七次隊が使用するため、次の物資を現地へ配送

飲料水 (2リットル) 600本、乾燥米飯 500食、パン 960食、カップ麺 480食、スープ 480食、栄養補給食 480食

三浦半島への支援体制構築を急げ

日曜の朝に震度4の地震が発生し、肝を冷やした方も多いのではないのでしょうか。能登半島の状況は神奈川県でも決して他人事ではありません。

特に、同じく半島である三浦半島は能登半島よりも狭い面積に多くの方が生活をしています。3つの活断層や横須賀を母港化している米原子力艦船の存在など災害リスクは非常に大きい状況です。

これまでにも、実効的な原子力災害の避難計画が策定されていない問題などを神奈川県に指摘しましたが、それに加えて道路が寸断された際の、半島地域への支援の在り方を十分に想定しておく必要があります。2月から始まる県議会においても、こうした点をしっかりと議論し、備えをするよう求めていきます。

